

## 4 総合子ども学科 4年次

	講 義 名	開講時期・単位数	
		前 期	後 期
必 修 科 目	教育実習指導Ⅱ	1	
	ゼミナールⅡ	1	
	卒業研究		6
選 択 科 目	保育産業論	1	
	児童ケースワーク		1
	おもちゃ論		1
	幼児の野外活動 [集中講義]	1	
	体育心理学	1	
	応用ピアノⅠ	1	
	応用ピアノⅡ		1
	絵本論		1
	絵本創作		1
	紙芝居		1
	劇遊び	1	
	手話Ⅰ	1	
	手話Ⅱ		1
	レクリエーション実技		1
	レクリエーション種目の実技		1
	クラスルームⅣ a・Ⅳ b	1	1
	併修学習Ⅳ a・Ⅳ b	1	1
実 習	保育実習Ⅰ-1		2
	保育実習Ⅰ-2		2
	保育実習Ⅱ		2
	教育実習		4
合 計 単 位 数		10	27
		37	

科 目	<b>教育実習指導Ⅱ</b>	講 師	<b>中西 和子</b>
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼稚園教育実習に対する事前学習として、実習目標を明確にする。</li> <li>・ 実習生としての自覚・心構えを修得する。</li> <li>・ 幼稚園の実際の理解を進め、記録方法を学ぶ。</li> <li>・ 各授業での学習結果を実践の場で活用できるよう、総合的な力を養成する。</li> <li>・ 事後学習として、実習を振り返り、幼稚園教諭としての自覚を高める。</li> </ul>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガイダンス</li> <li>2. 幼稚園教育実習の意義と目的</li> <li>3. 幼稚園の生活(1) 環境</li> <li>4. 幼稚園の生活(2) 子どもの活動</li> <li>5. 実習課題・研究テーマの設定</li> <li>6. オリエンテーションについて</li> <li>7. 教育実習日誌の書き方演習(1) 観察記録の基本学習</li> <li>8. 教育実習日誌の書き方演習(2) 環境設定・保育者のねらい・配慮の理解</li> <li>9. 指導計画の立案(1) 1日の活動</li> <li>10. 指導計画の立案(2) 手遊び・絵本・紙芝居を中心として</li> <li>11. 指導計画の立案(3) ゲーム・製作活動を中心として</li> <li>12. 実習振り返り討議</li> <li>13. 研究発表準備</li> <li>14. 研究発表 (ポスター発表)</li> <li>15. 実習報告会 (パワーポイント)</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> …… 『指導と評価に生かす記録』 チャイルド本社  <b>参考書</b> ……特に指定なし		
評価の 方法	出席状況 (無断欠席不可)、受講態度、提出物、発表、テスト等による総合評価		

科 目	<b>ゼミナールⅡ (社会福祉ゼミ)</b>	講 師	<b>阿久津 撰</b>
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ゼミナールⅠで各自が見つけたテーマについて深めていく。</li> <li>・ テーマに対して調査や現場見学、文献収集などを行う。</li> <li>・ 卒業論文を作成するため、個々面接を重ねる。</li> <li>・ 卒業論文作成、完成。</li> </ul>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 春休み中の課題報告</li> <li>2. ゼミメンバーのテーマ発表(1)</li> <li>3.                         〃                 (2)</li> <li>4.                         〃                 (3)</li> <li>5. 論文の骨子説明(1)</li> <li>6.                         〃                 (2)</li> <li>7.                         〃                 (3)</li> <li>8. 論文面接(1)</li> <li>9.                         〃                 (2)</li> <li>10.                        〃                (3)</li> <li>11.                        〃                (4)</li> <li>12.                        〃                (5)</li> <li>13.                        〃                (6)</li> <li>14.                        〃                (7)</li> <li>15.                        〃                (8)</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……特に指定なし  <b>参考書</b> ……特に指定なし		
評価の 方法	卒業論文		

科 目	ゼミナールⅡ（ボーカルゼミ）	講 師	木下 裕子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々なジャンルの楽曲（童謡・唱歌、Jポップ、ゴスペル、外国語曲等）を通して、保育指導に役立たせる音楽表現技術を各人が開発していきましょう。</li> <li>・「わらべうた」の演習・研究を行います。</li> </ul>		
授業の画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション：わらべうたについて</li> <li>2. 各自の興味ある楽曲のリサーチ</li> <li>3. 各自の課題と共通課題の検討</li> <li>4. 演習①</li> <li>5. 演習②</li> <li>6. 演習③</li> <li>7. 演習④</li> <li>8. 演習⑤</li> <li>9. 演習⑥</li> <li>10. 演習⑦</li> <li>11. 演習⑧</li> <li>12. 演習⑨</li> <li>13. 個別発表及びコンサートの進行表作成</li> <li>14. 共同発表（ライブコンサート形式）</li> <li>15. 振り返りとまとめ（レポート作成）</li> </ol>		
教科書及び参考書	<p>教科書……特に指定なし</p> <p>参考書……特に指定なし</p>		
評価の方法	出席状態、個別発表、共同発表、レポートによる総合評価		

科 目	ゼミナールⅡ（保育実践ゼミ）	講 師	鈴木 八重子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゼミナールⅠで見つけた各自のテーマを深めていく。</li> <li>・ディスカッションや制作、指導案の立案などを通して保育者としての視点や姿勢を養う。</li> <li>・実践を通して保育者としての指導力を養う。</li> </ul>		
授業の画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ゼミナールⅠでの学びを振り返る</li> <li>2. 各自のテーマ検討①</li> <li>3. 各自のテーマ検討②</li> <li>4. テーマに沿った制作、指導案の立案①</li> <li>5. テーマに沿った制作、指導案の立案②</li> <li>6. テーマに沿った制作、指導案の立案③</li> <li>7. まとめと振り返り</li> <li>8. 中間発表①</li> <li>9. 中間発表②</li> <li>10. 中間発表③</li> <li>11. まとめと振り返り</li> <li>12. 発表準備①</li> <li>13. 発表準備②</li> <li>14. 発表</li> <li>15. 振り返り・まとめ</li> </ol>		
教科書及び参考書	<p>教科書……特に指定なし</p> <p>参考書……特に指定なし</p>		
評価の方法	出席、受講態度、個別発表による総合評価		

科 目	ゼミナールⅡ（造形ゼミ）	講 師	なかむら しんいちろう
授業目標	<p>ゼミナールⅠの内容を踏まえ保育造形に関するテーマを選び研究・課題制作を行う。そしてレポートにまとめ発表し展示準備を整え提出する。テーマは将来の現場指導に活きる内容とする。また造形分野に秀でた保育者を目指し、その造形力を向上させるような真摯な態度で研究する。 *制作に必要な全材料は各自で負担し準備する。また展覧会見学等で様々な美術に触れレポートを提出する。</p>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 前提講義「造形」についての研究テーマを考察。十分な調べ学習を行う。</li> <li>2. 研究テーマ案の発表と検討。講師によるテーマのチェック（個別）</li> <li>3. 研究テーマの再案の発表と再検討。テーマ決定。計画立案。</li> <li>4. 制作(1)各自、研究テーマについて、スケジュールに従って確実に進行。</li> <li>5. 制作(2)制作進行</li> <li>6. 制作(3)中間チェック（個別相談）</li> <li>7. 制作(4)制作進行</li> <li>8. 制作(5)中間発表（全体）進行状況の確認と相談。スケジュールの調整。</li> <li>9. 制作(6)制作進行</li> <li>10. 制作(7)</li> <li>11. 制作(8)仕上げと研究発表に向けた準備。</li> <li>12. 制作(9)研究テーマの発表。</li> <li>13. 展示準備(1)研究ノートの制作と壁画展示等に向けた準備。</li> <li>14. 展示準備(2)まとめノートの制作。</li> <li>15. まとめと総評。のまとめノートの提出。</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<p>教科書……特に指定なし 参考書……特に指定なし</p>		
評 価 の 方 法	<p>授業態度を重視。必要な用具・材料の準備、授業内での作品の提出及び完成度、学習意欲、制作に対する真摯な姿勢、適切な片付け、まとめノートの提出、遅刻早退出席数による総合的評価</p>		

科 目	保育産業論	講 師	望月 恭子
授業目標	<p>少子高齢化、格差社会、出産年齢の上昇、保育園の不足、メディアの多様化…めまぐるしく変わる社会や経済の動きを見据えながら、子どもを中心とする家族に関わる産業について、マーケティングの観点から切り込み、その実態を知り、理解を深めていく。また消費社会を生きる私たちにとって、必要な情報とは何か、どう捉えていくのかを探っていく。 衣・食・住・教育・玩具・文化・メディアなど、様々なジャンルから、毎回具体的なテーマを選択し、時に実践を交えながら、最新データを基に、トレンドを掴み、その構造と課題を掘り下げていく。</p>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 子どもに関わる産業とは何か～基本的な考え方</li> <li>2. 広告の基本戦略と5大メディアが子ども産業に与える影響と役割</li> <li>3. ユーザーニーズの捉え方とターゲットへのアプローチ、マーケティング分析の方法</li> <li>4. 食の傾向と実態、日本が抱えている問題とは</li> <li>5. 食のトレンドの方向性を探り、商品開発の方法を知る</li> <li>6. ファッション市場の動向とメディアの関わり。親の意識の反映とは。かわいいの意味、子どもにとっての衣とは</li> <li>7. 教育産業の実態①学校の現場で。受験産業と塾の役割</li> <li>8. 教育産業の実態②親の期待と習い事について</li> <li>9. 子どもと映像～テレビ、アニメ、映画など、実際に視聴しながら</li> <li>10. キャラクターの持つ力とその意味</li> <li>11. コマーシャルの意味と影響力。SNSをはじめ、インターネットの役割</li> <li>12. 玩具・ゲームマーケットのトレンドと移り変わり</li> <li>13. 環境をはじめとする新しい産業の台頭とグローバル化</li> <li>14. キーワードに見る子ども産業の未来</li> <li>15. 試験</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<p>教科書……特に指定なし 参考書……特に指定なし</p>		
評 価 の 方 法	<p>出席及び試験による総合評価</p>		

科 目	児童ケースワーク	講 師	蓑崎 浩史
授業目標	現代の社会状況や、子どもの発達を支える社会の仕組みについての理解を求めた上で、乳幼児期の子どもの問題について、保育者としてどのように関わっていくことができるのかを考え、他者の意見を聞きながら柔軟に対応できる姿勢を身につけていくことを目標とする。		
授 業 の 画 計	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション ～児童ケースワークの進め方～</li> <li>2. 1つのケースについて考えてみる</li> <li>3. 問題の背景についての理解</li> <li>4. 施設保育者の専門性について考えてみる①</li> <li>5. 施設保育者の専門性について考えてみる②</li> <li>6. ケース対応を考える ①母子家庭</li> <li>7. ケース対応を考える ②障がいを持つ子ども（ダウン症候群）</li> <li>8. ケース対応を考える ③</li> <li>9. グループ研究課題の提示 グループ活動①</li> <li>10. グループ研究発表 まとめ</li> <li>11. グループ研究課題の提示 グループ活動②</li> <li>12. グループ研究発表 まとめ</li> <li>13. グループ研究課題の提示 グループ活動③</li> <li>14. グループ研究発表 まとめ</li> <li>15. まとめ</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……特に指定なし 授業中に適宜資料を配布する <b>参考書</b> ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	出席状況、受講態度、グループ活動、ディスカッション、レポート等による総合評価		

科 目	おもちゃ論	講 師	なかむら しんいちろう
授業目標	<p>手作りおもちゃの制作を通して、おもちゃが子どもに与える成長や発達の特徴を学ぶ。身近な材料から素朴な手作りおもちゃを制作し完成させる。そして作り方、使用の仕方をレポートにまとめ発表する。実際に遊び活用法を身につける。さらに実践する際に役立つ指導方法を検討、プランをまとめ発表する。</p> <p>おもちゃに関する施設見学を実施予定。  *制作の進行状況を考慮し順序や内容を適宜変更する。</p>		
授 業 の 画 計	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 前提講義：子ども時代に遊んだ玩具を振り返り、レポート作成。おもちゃの歴史。</li> <li>2. 「玩具」の意義。子どもにとって「おもちゃ」とは。レポート発表後、意見交換。</li> <li>3. 「手作りおもちゃ」とは何か？双六制作（マップとサイコロ）。ボードゲームとは。</li> <li>4. 双六遊び。ボードゲームの作り方、遊び方の解説書制作。</li> <li>5. 風車制作（自然環境とおもちゃ）。伝統玩具とは。</li> <li>6. 野外での風車遊び。風車の作り方と遊び方の解説書制作。</li> <li>7. ごっこ遊びのおもちゃ制作（折り紙による人形とドールハウス作り）。ままごと遊びとは。</li> <li>8. メモリーカード遊び。「ゲームのルール」とは何か？</li> <li>9. ブロックや君合わせ玩具、積み木遊び。知育玩具とは。発達段階とおもちゃの関係。</li> <li>10. ブロックと積み木の違い。遊び方の解説書制作。</li> <li>11. 音の出るおもちゃ制作（ガラガラ、太鼓、缶ぽっくり、ストロー笛など）</li> <li>12. 音の出るおもちゃで演奏の練習。楽器おもちゃの作り方、演奏の仕方の解説書制作。</li> <li>13. 様々な素材のコマ制作（ペットボトルのフタ、ドングリ、びゅんびゅんごまなど）</li> <li>14. 手作りおもちゃのまとめノート制作。</li> <li>15. タングラム（三角パズル）遊び。まとめノート提出。</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……特に指定なし <b>参考書</b> ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	授業態度を重視。必要な用具・材料の準備、授業内での作品の提出及び完成度、学習意欲、制作に対する真摯な姿勢、適切な片付け、まとめノートの提出、遅刻早退出席数による総合評価		

科 目	体育心理学	講 師	亀谷 正美
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼児教育で活用できる体育心理学の知識を学ぶ。</li> <li>・ 動機づけについて学ぶ。</li> <li>・ 運動学習、練習についての知識を深める。</li> <li>・ リラクゼーションの重要性について。</li> <li>・ 集中力を高めるには。</li> </ul>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション（授業のすすめ方）</li> <li>2. 体育心理学とは</li> <li>3. 運動の心理学的メカニズム</li> <li>4. 動機づけ</li> <li>5. 動機づけを高めるには</li> <li>6. 体育の基礎としての心身の発達</li> <li>7. 発達段階と体育指導</li> <li>8. 体育における運動学習、練習</li> <li>9. 人間形成としての体育</li> <li>10. 体育における集団心理、リーダーシップ</li> <li>11. イメージトレーニングとは何か</li> <li>12. リラクゼーション</li> <li>13. リラクゼーションの様々な技法を学ぶ</li> <li>14. 集中力を高めるには</li> <li>15. 授業を振り返り感想文提出</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……特に指定なし  <b>参考書</b> ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	授業参加の仕方、レポートで評価		

科 目	応用ピアノ I	講 師	鈴木 真智子・前原 貴子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ピアノを中心とした器楽の応用的な演奏技術を学ぶ。</li> <li>・ 子どものうたを大きな声で、楽しく弾き歌いできるようにする。</li> <li>・ 実習に向けての準備・レパートリー作り。</li> <li>・ 保育現場で子どもたちと生き生きと音楽表現を楽しめる力をつける。</li> </ul>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 各学生のレベルの把握と課題決定</li> <li>2. 個人レッスン：実習に向けて、生活の歌や季節の歌を中心に。</li> <li>3.         〃         :         〃</li> <li>4.         〃         :         各実習園の課題が出たら練習に入りましょう。</li> <li>5.         〃         :         〃</li> <li>6.         〃         :         〃</li> <li>7.         〃         :         〃</li> <li>8.         〃         :         〃</li> <li>9.         〃</li> <li>10.        〃</li> <li>11.        〃</li> <li>12.        〃</li> <li>13.        〃</li> <li>14.        〃         : 実技試験発表曲の徹底練習</li> <li>15. 実技試験</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……前年度に使用したもの及び担当講師の指定するもの  <b>参考書</b> ……『始めよう！弾き歌い』		
評 価 の 方 法	受講態度、出席状況、実技試験による総合評価		



科 目	応用ピアノⅡ	講 師	佐藤 季里
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ピアノを中心とした器楽の応用的な演奏技術を学ぶ。</li> <li>・子どものうたを大きな声で、楽しく弾き歌いできるようにする。</li> <li>・保育現場で子どもたちと生き生きと音楽表現を楽しめる力をつける。</li> <li>・採用試験に向けての課題演習。</li> </ul>		
授 業 の 画 計	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 各学生のレベルの把握と課題決定</li> <li>2. 個人レッスン</li> <li>3.        〃</li> <li>4.        〃</li> <li>5.        〃</li> <li>6.        〃</li> <li>7.        〃</li> <li>8.        〃</li> <li>9.        〃</li> <li>10.       〃</li> <li>11.       〃</li> <li>12.       〃</li> <li>13.       〃</li> <li>14.       〃                   : 実技試験発表曲の徹底練習</li> <li>15. 実技試験</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……前年度に使用したもの及び担当講師の指定するもの  <b>参考書</b> ……『始めよう！弾き歌い』		
評 価 の 方 法	受講態度、出席状況、実技試験による総合評価		

科 目	絵本論	講 師	横山 雅代
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本の特性や奥深さを知り、子どもの豊かな発達をサポートする保育者としての力をつける。</li> <li>・子どもの発達段階に合わせた絵本表現、好奇心を大事にする絵本表現を理解する。</li> <li>・絵本を選ぶ力、読み合いで表現する力をつける。</li> <li>・読み合い、対話する中で、言葉でのコミュニケーション能力を高める。</li> </ul>		
授 業 の 画 計	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 絵本とは何か一紙しばいとの違いから学ぶ</li> <li>2. 絵本とは何か一作り手の視点から</li> <li>3. 子どもの発達と絵本—0、1、2歳児の絵本</li> <li>4. 子どもの発達と絵本—3、4歳児の絵本</li> <li>5. 子どもの発達と絵本—5、6歳児の絵本</li> <li>6. 子どもの興味と絵本—自然、季節、行事等</li> <li>7. 子どもの興味と絵本—家族、人間関係等</li> <li>8. 子どもの興味と絵本—おばけ、ナンセンス等</li> <li>9. 子どもの興味と絵本—食べ物等</li> <li>10. 子どもの興味と絵本—自己肯定感等</li> <li>11. 絵本の読み合いから学ぶ①</li> <li>12. 絵本の読み合いから学ぶ②</li> <li>13. 絵本の読み合いから学ぶ③</li> <li>14. 絵本の読み合いから学ぶ④</li> <li>15. まとめ</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……特に指定なし  <b>参考書</b> ……必要に応じて紹介する		
評 価 の 方 法	授業中の課題や発言、学期末のレポートによって、総合的に評価する		





科 目	劇遊び	講 師	竹田 えり
授業目標	<p>この授業では「劇あそび」についてその取り組み方や保育者の関わり方を創作や実技を通して体験的に学習していきます。          まずは保育者自身の表現力を高める発声法や演技の演習。          そして絵本や手遊び歌遊び・パネルシアターなどを使用した導入方法の研究。          また総合表現活動である「オペレッタ」についても学んでいきます。</p>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション</li> <li>2. 劇あそび 0・1・2歳児向け</li> <li>3. 劇あそび 3・4・5歳児向け</li> <li>4. 名作オペレッタ</li> <li>5. 創作オペレッタ</li> <li>6. 衣装・振付・伴奏方法・音楽編集などについて</li> <li>7. グループワーク 発表作品プランニング</li> <li>8. グループワーク 歌唱・台詞練習</li> <li>9. グループワーク 振付練習</li> <li>10. グループワーク 衣装制作</li> <li>11. グループワーク 小道具・大道具制作</li> <li>12. グループワーク 通し稽古1</li> <li>13. グループワーク 通し稽古2</li> <li>14. 発表会</li> <li>15. 振り返り・総括</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<p>教科書……不要          参考書……未定</p>		
評 価 の 方 法	出席状況、受講態度、レポート及びグループ発表等による総合評価		

科 目	手話 I	講 師	乙川 智子			
授業目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 手話の学習を通し、聴覚障害に関する理解を深める。</li> <li>② 手話の基礎知識を学ぶ。</li> <li>③ 聴覚障害の基礎知識を学ぶ。</li> <li>④ 聴覚障害者の生活や、福祉制度の基礎知識を学ぶ。</li> <li>⑤ 聴覚障害者との交流を行い、コミュニケーション力を養う。</li> </ol>					
授 業 の 画	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 〈技術〉伝え合ってみよう I</li> <li>2.                   〃                  II</li> <li>3.                   自己紹介の表現 名前</li> <li>4.                   〃                  指文字</li> <li>5.                   〃                  家族</li> <li>6.                   〃                  趣味</li> <li>7.                   〃                  住所</li> <li>8.                   〃                  仕事</li> <li>9.                   〃                  学生生活</li> <li>10.                  〃                  誕生日</li> <li>11.                  自己紹介まとめ I</li> <li>12.                  〃                  II</li> <li>13. 聴覚障害者との交流学习</li> <li>14. 試験</li> <li>15. まとめ</li> </ol> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <ol style="list-style-type: none"> <li>〈理論〉手話の基礎知識 I</li> <li>〃                  〃                  II</li> <li>聴覚障害の基礎知識 I</li> <li>〃                  〃                  II</li> <li>コミュニケーションとは</li> <li>聴覚障害者の生活 I</li> <li>〃                  〃                  II</li> <li>〃                  〃                  III</li> <li>福祉制度 I</li> <li>〃                  〃                  II</li> </ol> </td> </tr> </table> </td> </tr> </table>			<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 〈技術〉伝え合ってみよう I</li> <li>2.                   〃                  II</li> <li>3.                   自己紹介の表現 名前</li> <li>4.                   〃                  指文字</li> <li>5.                   〃                  家族</li> <li>6.                   〃                  趣味</li> <li>7.                   〃                  住所</li> <li>8.                   〃                  仕事</li> <li>9.                   〃                  学生生活</li> <li>10.                  〃                  誕生日</li> <li>11.                  自己紹介まとめ I</li> <li>12.                  〃                  II</li> <li>13. 聴覚障害者との交流学习</li> <li>14. 試験</li> <li>15. まとめ</li> </ol>	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <ol style="list-style-type: none"> <li>〈理論〉手話の基礎知識 I</li> <li>〃                  〃                  II</li> <li>聴覚障害の基礎知識 I</li> <li>〃                  〃                  II</li> <li>コミュニケーションとは</li> <li>聴覚障害者の生活 I</li> <li>〃                  〃                  II</li> <li>〃                  〃                  III</li> <li>福祉制度 I</li> <li>〃                  〃                  II</li> </ol> </td> </tr> </table>	<ol style="list-style-type: none"> <li>〈理論〉手話の基礎知識 I</li> <li>〃                  〃                  II</li> <li>聴覚障害の基礎知識 I</li> <li>〃                  〃                  II</li> <li>コミュニケーションとは</li> <li>聴覚障害者の生活 I</li> <li>〃                  〃                  II</li> <li>〃                  〃                  III</li> <li>福祉制度 I</li> <li>〃                  〃                  II</li> </ol>
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 〈技術〉伝え合ってみよう I</li> <li>2.                   〃                  II</li> <li>3.                   自己紹介の表現 名前</li> <li>4.                   〃                  指文字</li> <li>5.                   〃                  家族</li> <li>6.                   〃                  趣味</li> <li>7.                   〃                  住所</li> <li>8.                   〃                  仕事</li> <li>9.                   〃                  学生生活</li> <li>10.                  〃                  誕生日</li> <li>11.                  自己紹介まとめ I</li> <li>12.                  〃                  II</li> <li>13. 聴覚障害者との交流学习</li> <li>14. 試験</li> <li>15. まとめ</li> </ol>	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <ol style="list-style-type: none"> <li>〈理論〉手話の基礎知識 I</li> <li>〃                  〃                  II</li> <li>聴覚障害の基礎知識 I</li> <li>〃                  〃                  II</li> <li>コミュニケーションとは</li> <li>聴覚障害者の生活 I</li> <li>〃                  〃                  II</li> <li>〃                  〃                  III</li> <li>福祉制度 I</li> <li>〃                  〃                  II</li> </ol> </td> </tr> </table>	<ol style="list-style-type: none"> <li>〈理論〉手話の基礎知識 I</li> <li>〃                  〃                  II</li> <li>聴覚障害の基礎知識 I</li> <li>〃                  〃                  II</li> <li>コミュニケーションとは</li> <li>聴覚障害者の生活 I</li> <li>〃                  〃                  II</li> <li>〃                  〃                  III</li> <li>福祉制度 I</li> <li>〃                  〃                  II</li> </ol>				
<ol style="list-style-type: none"> <li>〈理論〉手話の基礎知識 I</li> <li>〃                  〃                  II</li> <li>聴覚障害の基礎知識 I</li> <li>〃                  〃                  II</li> <li>コミュニケーションとは</li> <li>聴覚障害者の生活 I</li> <li>〃                  〃                  II</li> <li>〃                  〃                  III</li> <li>福祉制度 I</li> <li>〃                  〃                  II</li> </ol>						
教科書 及び 参考書	<p>教科書……『手にことばを 初級編』東京都聴覚障害者連盟          参考書……特に指定なし</p>					
評 価 の 方 法	受講態度、定期試験、レポート等による総合評価					

科 目	手話Ⅱ	講 師	乙川 智子
授業目標	1. 手話の学習を通し、聴覚障害に関する理解を深める。 2. 手話を覚えて会話の楽しみを習得する。 3. 実際に覚えた手話で聴覚障害者との交流学习を体験し、コミュニケーション力を養う。 4. 聴覚障害に関する基礎知識を学び、またビデオ学習の中で不便さに気づき解決する為の方法を考察、意見交換等を行う。 5. まずは、体を、手を、頭を動かし楽しく勉強をしましょう！		
授 業 の 画 計	1. 〈技術〉前期の復習 1 家族、趣味 ※原則として手話Ⅰの履修者 2. 〃 2 住所、仕事 3. 〃 3 疑問文、時の表現等 4. 短文練習 1 5. 〃 2 6. 会話練習 1 テキストを活用して 7. 〃 2 テキストを活用して 8. 〃 3 テキストを活用して 9. 長文練習 1 10. 〃 2 11. 自分で考えた文章の表現練習 12. 聴覚障害者との交流 13. ビデオの活用、意見交換等 14. 試験 15. 試験のふりかえり、まとめ		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……『手にことばを 初級編』東京都聴覚障害者連盟  <b>参考書</b> ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	受講態度、定期試験、レポート等による総合評価		

科 目	レクリエーション実技	講 師	小倉 恵子
授業目標	レクリエーション実技指導の方法、実技の取り上げ方、対象別に実技を通してゲームのルール・どう楽しませるかを修得して行きます。 幼児から高齢者など、様々な方々に通用する実技指導法・ホスピタリティを身につける方法・コミュニケーションの方法を具体的に体験し、修得できるように育てて行きます。		
授 業 の 画 計	1. レクリエーション実技指導について 2. レクリエーションゲームの取り上げ方 3. 自己主張・強調協力・ゲームの体験 4. コミュニケーションゲームの取り上げ方 5. 対象別レクリエーションゲームの取り上げ方 その1 6. 対象別レクリエーションゲームの取り上げ方 その2 7. ホスピタリティを身につける方法 8. コミュニケーション・ワークの展開法 9. コミュニケーション・ワークの指導法 10. コミュニケーション・ワークの実践 その1 11. コミュニケーション・ワークの実践 その2 12. フォークダンス・レクリエーションダンスの取り上げ方・指導法 その1 13. フォークダンス・レクリエーションダンスの取り上げ方・指導法 その2 14. ノートのまとめ その1 15. ノートのまとめ・提出 その2		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……特に指定なし  <b>参考書</b> ……『キャンプで使えるアウトドアゲーム集』		
評 価 の 方 法	出席率・ノート提出評価・授業態度の評価で行う		

科 目	レクリエーション種目の実技	講 師	山田 井佐子
授業目標	レクリエーション種目を学ぶ。 レクリエーションの奥の深さを学ぶ。 具体的なレクリエーション実技を通して学ぶ。		
授 業 の 画	1. レクリエーション種目の実際と学習 2.                                "                                " 3. ウォークラリー 4.                                " 5. カード・ゲーム 6.                                " 7. クラフト 8.                                " 9. ゲームのアレンジの考え方と方法 10.                              " 11. 結索（ロープ・ワーク） 12.                              " 13. ダンスの種目 14.                              " 15. ノートまとめ 小試験		
教科書 及び 参考書	教科書……特に指定なし 参考書……特に指定なし		
評 価 の 方 法	受講態度・出席を重視・ノート提出・小試験評価		

科 目	クラスルームⅣa（前期） Ⅳb（後期）	講 師	鈴木 八重子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡事項を聞き、自分に必要なことを知りふさわしい行動をとる。</li> <li>・担任との個人面談を通して資格取得、卒業への見通しを持つ。</li> <li>・クラス内の親睦をはかり行事等の準備を行う。</li> </ul>		
授 業 の 画	(前期) 1. 4年の学生生活について                               (後期) 1. オリエンテーション 2. 資格、免許取得、卒業への見通し                           2. 学校行事の企画③ 3. 連絡事項と個人面談①   3. 学校行事の企画④ 4. 連絡事項と個人面談②   4. 学校行事の準備① 5. 連絡事項と個人面談③   5. 学校行事の準備② 6. 連絡事項と個人面談④   6. 学校行事の準備③ 7. 連絡事項と個人面談⑤   7. 学校行事の準備④ 8. 連絡事項と個人面談⑥   8. 振り返りディスカッション 9. 連絡事項と個人面談⑦   9. 連絡事項と個人面談① 10. 連絡事項と個人面談⑧   10. 連絡事項と個人面談② 11. 連絡事項と個人面談⑨   11. 連絡事項と個人面談③ 12. 連絡事項と個人面談⑩   12. 連絡事項と個人面談④ 13. 学校行事の企画①   13. 連絡事項と個人面談⑤ 14. 学校行事の企画②   14. 連絡事項と個人面談⑥ 15. まとめと振り返り   15. 卒業、資格・免許取得の最終確認		
教科書 及び 参考書	教科書……特に指定なし 参考書……特に指定なし		
評 価 の 方 法	出席状況による評価		

科 目	併修学習Ⅳ a (前期)・Ⅳ b (後期)	講 師	鈴木 八重子		
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡事項を聞き、自分に必要なことを知りふさわしい行動をとる。</li> <li>・幼稚園教員免許状取得に向けての併修学習を進める。</li> </ul>				
授 業 の 画 計 画	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top; border: none;">           (前期) 1. 学習計画作成            2. レポート作成・試験勉強①            3. レポート作成・試験勉強②            4. レポート作成・試験勉強③            5. レポート作成・試験勉強④            6. レポート作成・試験勉強⑤            7. レポート作成・試験勉強⑥            8. レポート作成・試験勉強⑦            9. レポート作成・試験勉強⑧            10. レポート作成・試験勉強⑨            11. レポート作成・試験勉強⑩            12. レポート作成・試験勉強⑪            13. レポート作成・試験勉強⑫            14. レポート作成・試験勉強⑬            15. レポート作成・試験勉強⑭         </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top; border: none;">           (後期) 1. 学習計画作成            2. レポート作成・試験勉強①            3. レポート作成・試験勉強②            4. レポート作成・試験勉強③            5. レポート作成・試験勉強④            6. レポート作成・試験勉強⑤            7. レポート作成・試験勉強⑥            8. レポート作成・試験勉強⑦            9. レポート作成・試験勉強⑧            10. レポート作成・試験勉強⑨            11. レポート作成・試験勉強⑩            12. レポート作成・試験勉強⑪            13. レポート作成・試験勉強⑫            14. レポート作成・試験勉強⑬            15. 幼稚園教員免許取得状況確認         </td> </tr> </table>			(前期) 1. 学習計画作成 2. レポート作成・試験勉強① 3. レポート作成・試験勉強② 4. レポート作成・試験勉強③ 5. レポート作成・試験勉強④ 6. レポート作成・試験勉強⑤ 7. レポート作成・試験勉強⑥ 8. レポート作成・試験勉強⑦ 9. レポート作成・試験勉強⑧ 10. レポート作成・試験勉強⑨ 11. レポート作成・試験勉強⑩ 12. レポート作成・試験勉強⑪ 13. レポート作成・試験勉強⑫ 14. レポート作成・試験勉強⑬ 15. レポート作成・試験勉強⑭	(後期) 1. 学習計画作成 2. レポート作成・試験勉強① 3. レポート作成・試験勉強② 4. レポート作成・試験勉強③ 5. レポート作成・試験勉強④ 6. レポート作成・試験勉強⑤ 7. レポート作成・試験勉強⑥ 8. レポート作成・試験勉強⑦ 9. レポート作成・試験勉強⑧ 10. レポート作成・試験勉強⑨ 11. レポート作成・試験勉強⑩ 12. レポート作成・試験勉強⑪ 13. レポート作成・試験勉強⑫ 14. レポート作成・試験勉強⑬ 15. 幼稚園教員免許取得状況確認
(前期) 1. 学習計画作成 2. レポート作成・試験勉強① 3. レポート作成・試験勉強② 4. レポート作成・試験勉強③ 5. レポート作成・試験勉強④ 6. レポート作成・試験勉強⑤ 7. レポート作成・試験勉強⑥ 8. レポート作成・試験勉強⑦ 9. レポート作成・試験勉強⑧ 10. レポート作成・試験勉強⑨ 11. レポート作成・試験勉強⑩ 12. レポート作成・試験勉強⑪ 13. レポート作成・試験勉強⑫ 14. レポート作成・試験勉強⑬ 15. レポート作成・試験勉強⑭	(後期) 1. 学習計画作成 2. レポート作成・試験勉強① 3. レポート作成・試験勉強② 4. レポート作成・試験勉強③ 5. レポート作成・試験勉強④ 6. レポート作成・試験勉強⑤ 7. レポート作成・試験勉強⑥ 8. レポート作成・試験勉強⑦ 9. レポート作成・試験勉強⑧ 10. レポート作成・試験勉強⑨ 11. レポート作成・試験勉強⑩ 12. レポート作成・試験勉強⑪ 13. レポート作成・試験勉強⑫ 14. レポート作成・試験勉強⑬ 15. 幼稚園教員免許取得状況確認				
教科書 及び 参考書	教科書……特に指定なし 参考書……特に指定なし				
評価の 方法	出席状況による評価				